

山形県参議院議員 芳賀道也 活動報告

はがみちやタイムズ

Haga Michiya Times

2021.01
新年号
VOL.07

発行元：芳賀みちや道優会◎〒990-0825 山形県山形市城北町1丁目24-15 ダイア 66 城北2F-A TEL:023-676-5115 FAX:023-676-5116



2021年 命と暮らしを守る政治に!!

今年は、『新年おめでとうございます』とは単純に言い難い中で、新しい年を迎えました。今日・この瞬間も、コロナと闘っている皆さん、医療関係者はもちろん、コロナ禍でも命を守り、社会を、暮らしを、支えるために頑張っているすべての皆さんに感謝を申し上げます。

昨年は、コロナに加えて、地球の危機的状況を象徴するように、山形でも全国でも、豪雨など自然災害も頻発しました。

こうした中であって、政府・与党の対策は「アベノマス

ク」「GoToトラベル」など後手後手で迷走に次ぐ迷走。かえって混乱を深めました。

「命を守るための支援」「暮らしていけない、仕事が、商売が続けられない」という本当に必要な方に支援が行われるように声を上げ続け、「命と暮らしを守る政治」を取り戻しましょう。



11月30日 本会議で質問（NHK中継）

「お答えは差し控えます」問答無用を改め、「話せば分かる」民主主義を！

菅総理は今国会だけで92回、内閣全体では181回「お答えを差し控えます」など答 弁拒否を連発。1932年(昭和7年)五・一五事件で命をかけて民主主義を守った犬養毅元首相

の言葉「話せば分かる」を引用しながら、「お答えを差し控えます」の答弁を 封印して、国民に説明責任を果たし、話せば分かる総理になるよう求めました

「自助」強調よりも「公助」充実を！

東北出身の総理大臣として期待したのがっかり。自己責任を強調する菅総理の 姿勢を取り上げて「いま公助こそが重要なのではないかと問かけ、コロナ禍、政 府の対

策が後手後手で国民に安心を与えられず自死までが増えていたとただしました。

コロナ経済対策として追加の現金給付を行うべき！

また菅内閣のコロナ対策がまったく遅いと指摘。いまこそ公助の充実が必要と現金給付を提案し、菅総理がこれを実施するよう 求めました。あわせて子どもの貧困対策や、医療機関・商店・中小零細事業者への思い切った直接支援を実施するよう要請。

一極集中対策、高速道路整備を進めて全力で「地方創生」を！

山形県では、菅総理のふるさと秋田県とも新潟県とも高速道路がつながっていません。「国土 の均衡ある発展」は嘘っぱちだ、とただして、東京への一極集中対策、高速道路の「ミッシングリンク」(未接続)も含めて「地方創生」に全力で取り組んでほしいと要請。



つや姫 雪若丸マスクで質問

しかし菅総理は一極集中を「止める」とは答えず、高速道路も「費用対効果の高いものから整備する」と答弁。これでは人口の多い ところしか整備が進みません。つながっていない高速道路ほど効果のないものではありません。引き続き山形県のため、声を上げ続けます！

災害・コロナで大変な自治体の支援を！

11月17日、総務委員会で質問

山形県や市町村の方からも、新型コロナで税収が減り、さらにコロナ対策で自治体の支出が増えて困っていると要望を聞き、質問。

質疑にて、武田総務大臣に地方交付税の総枠の拡大、緊急自然災害防止対策事業債と緊急防災・減災事業債の延長を要望し、内閣府に対しても新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の継続・増額を要請しました。

12月、来年度予算ではこの要望を受けて、地方交付税の総枠を9000億円増やすことが決定。また「減収補てん債」の増額も決定。自治体財政への支援が拡大しました！

「地域医療構想」「新公立病院改革ガイドライン」見直しを要望

新型コロナウイルスの感染が広がった際、公立・公的病院で多くの患者さんを受け入れました。しかし厚労省が昨年発表した「地域医療構想」では感染症対策は未検討。厚労省に「地域医療構想」の見直しを求め、武田総務大臣にも総務省「新公立病院改革ガイドライン」を新型コロナウイルスの感染拡大を受けて改めるべきだと迫りました。



JAグループ「笑味ちゃん」マスクで質問

出羽三山マスクで質問



「避難者」への支援を！平沢復興大臣に要請

12月2日、東日本大震災復興特別委員会で質問

震災からもうすぐ10年。避難を続ける方も多数います。米沢市にいる避難者の方から、ご年配の方のいる世帯の支援、お子さんの学習・就学支援が必要との声を聞き、平沢復興大臣に要望しました。

福島県出身の平沢大臣は「支援をもっともっと積極的にやっていくべきだ」と前向きな答弁でした。

7月豪雨災害をいち早く視察 国・県の支援につなげる

豪雨の被災地をいち早く視察

7月29日にはいち早く現地に入り、現場の課題を伺いました。

国に要望を伝えて復旧復興を応援。



農家への災害融資 5年間無利子、限度額増額

7月豪雨で農地や設備に被害を受けた農家の方が多い。「5年間無利子融資」の橋渡しを実施。

施設復旧のための資金や運転資金を調達したい			
支援内容	対応事業等	支援の内容	担当及び問合せ先
貸付利率の 半額減額 無利子化	施設再建のための農林漁業セーフティネット資金や施設再建のための農林漁業セーフティネット資金等	貸付利率半額減額無利子化 (原則的に減額を目的とするものではない)	(農水省) 施設再建資金課 TEL: 03-3591-1225
施設再建 5年間無利子	農林漁業セーフティネット資金等	施設再建5年間の無利子化	(農水省) 施設再建資金課 TEL: 03-3591-1225
関係金融機関 への要請	関係金融機関に協賛する関係、関係機関に協賛する関係	関係金融機関に協賛する関係、関係機関に協賛する関係	(農水省) 施設再建資金課 TEL: 03-3591-1225
貸付利率の 半額減額 無利子化	施設再建のための農林漁業セーフティネット資金等	貸付利率半額減額無利子化 (原則的に減額を目的とするものではない)	(農水省) 施設再建資金課 TEL: 03-3591-1225
貸付利率の 半額減額 無利子化	施設再建のための農林漁業セーフティネット資金等	貸付利率半額減額無利子化 (原則的に減額を目的とするものではない)	(農水省) 施設再建資金課 TEL: 03-3591-1225

※1 融資利率は0.5%、貸付利率は0.5%

激甚災害指定を要望し8月に実現

舟山やすえ議員と共に政府に激甚災害の指定を要望。

8月25日の閣議で激甚災害に指定され、災害支援の上乗せが正式に決定しました。



「現状復旧」を超えた「改良復旧」を支援

災害復旧は被害にあう前の状態に戻す「現状復旧」が原則ですが、再度の災害を防止する「改良復旧」にも支援が受けられるよう農水省などと調整。防水壁や防水扉の設置など浸水防止の工事が認められました。



県産酒・酒米消費拡大 東北唯一「県酒造組合」が採択

農林水産省の酒米消費拡大、最大二千万円のプロジェクトに東北で唯一「山形県酒造組合」が採択された。

コロナ禍で外飲みが減り、消費が低迷する日本酒。それに伴って酒米の在庫も過剰となり農家にも深刻な影響が出ている。

芳賀の情報提供に依って「山形県酒造組合」が国のプロジェクトに応募してくれ、

第一次では採択まで至らなかったが「組合」の皆さんが更に計画を進化させ第二次で見事採択された。

県内の全て酒蔵が協力、県産の酒米で作られた自慢の県産酒がセットで販売される。1月から3月まで実施される予定のこのキャンペーンに、みんなで協力しましょう!!

令和2年度米穀周年供給・需要拡大支援事業のうち 周年供給・需要拡大支援



衆議院・山形2区予定候補「加藤けんいち」さん

11月28日、野党と連合山形、無所属議員による「五者会議」は山形2区の衆議院議員候補予定者に地元出身の「空飛ぶ車いす社長」加藤健一さん(40歳)を決定。12月1日に国民民主党が公認。

「加藤けんいち」さんは、21歳の時に難病の筋ジストロフィーの診断を受け車いす生活になりました。現在、会社社長として、障がい者の外出支援や就労支援、バリアフリー観光の事業を行っています。

また自らパラグライダーに車いすのまま1人で乗って飛ぶという快挙を達成!「できない」を「できる」へと変えてきた「加藤けんいち」さん、政治の世界も変えてくれると期待が高まっています。

「加藤けんいち」さん略歴

1980年11月南陽市生まれ。
南陽市立吉野中学校・県立長井工業高校卒業。株式会社 三陽製作所勤務を経て2016年一般社団法人山形バリアフリー観光ツアーセンター設立。2018年株式会社 夢源を設立し代表取締役。

加藤けんいち後援会

〒999-2262

南陽市若狭郷屋589-2

☎ 0238-20-6313

mail office@katokenichi.jp

HP https://katokenichi.jp

コロナ禍の国民の生活を守るため、提案・要望を重ねました

三原じゅん子厚生労働副大臣にコロナ医療対策要望

「育成基本法推進議員連盟」として、三原じゅん子・厚生労働副大臣に要望。医師の先生方の「発熱外来・検査体制の整備、診療報酬の増額」の要望を提出。病院・診療所への直接支援も要望



「総額100兆円を超える」追加経済対策案

国民民主党は第3次補正で48兆円(1次、2次補正の58兆円と合計して100兆円規模)の追加経済対策を具体的に提案。政府の総額73兆円(政府の支出40兆円)をはるかに上回ります。

第3次補正 48兆円の追加経済対策案			
① 追加支出 消費増税1割10兆円	10兆円	② 地方交付金 地方交付金の増額10兆円	10兆円
③ 持続化給付金 1割増しの給付金10兆円	10兆円	④ 地方債 地方債の増額3兆円	3兆円
⑤ 医療対策 医療対策の増額5兆円	5兆円	⑥ 地方債 地方債の増額3兆円	3兆円
⑦ 地方債 地方債の増額3兆円	3兆円	⑧ 地方債 地方債の増額4兆円	4兆円

75歳以上「後期高齢者」医療費2割負担に反対

年収200万以上の75歳以上のご年配の皆さんの医療費負担を1割から2割に増やすことが与党間で決定。「年金が増えないなかで医療費負担が2倍になるのでは暮らしていけない!」2割への引上げに断固反対します。



「持続化給付金」みなし法人にも支給を要請

「温泉組合」「もち生産組合」「タクシー組合」など法人登記していない「みなし法人」(人格なき社団)は法人税を納めていても持続化給付金の対象外。大幅な減収で困窮し経済産業省に支給対象となるよう重ねて要望。引き続き要望を継続しています。



芳賀道也 活動レポート

被災地復興、コロナ経済対策など地元の要望を次々実現！

県内の被災地や現場の声を伺い、政府につないで問題解決を進めています。提案型の政治を目指します！

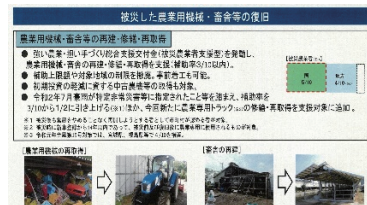
12/7(月)飯豊町 中津川橋全面復旧

飯豊町の後藤町長、吉村知事も協力して、いち早く復旧が実現！ 菅沼峠の改良工事や駐在所存続、鳥獣被害対策など、次の課題にも取り組みます。



豪雨災害 農業機械・畜舎の被害に75%助成

7月豪雨で多くの農家の皆さんが被害を受けました。農業機械・畜舎の被害助成を、国の制度を使い、県と協力して50%から75%に引き上げを実現。



豪雨災害 農業専用トラック(軽トラ等)に補助

今年7月豪雨で多くの方が被災し、農家の皆さんも農地や農機具、自動車が被害を受けました。昨年の災害までは認めなかった、被災した農家のトラック(軽トラ含む)への補助を要望し新たに実現しました。



旅行代理店の「GO TOトラベル」入金遅れを是正

感染が広がり「GO TOトラベル」キャンペーンどころではないと主張。その上で、県内のホテル、旅館、旅行代理店がこのキャンペーンを扱い、その金額を請求すると、書類チェックだけで40日～57日もかかっていた、余りにも支払いが遅かった。観光庁への要望が漸く実り「約3週間後入金」と「手数料引上げ」が実現しました。



豪雨災害・新型コロナで大変な自治体を支援

11月の総務委員会の質問にて地方交付税の総枠拡大など自治体財政への国の支援を増やすよう要望。来年度予算で地方交付税増額！また、減収補てん債の対象に法人諸税に加えて地方消費税、軽油引取税、地方揮発費与税など(いずれも市町村分も含む)も追加。



雇用調整助成金の特例を延長

新型コロナ禍で、休職・解雇・派遣切りなど雇用環境が非常に悪くなっています。すでに雇用調整助成金の特例が行われていますが、この延長を重ねて要望。第3次補正予算案で今年2月までに再延長が決定しました！ 更なる延長を要望中。



サポカー補助金 延長へ

一昨年の参議院選挙の際に訴え実現した「サポカー補助金」。当初は今年度限りの予定でしたが延長を重ねて要望。延長・継続が決まりました。さらに年度を越えて切れ目なく申請できるよう要望し実現しました。



介護報酬・障害福祉サービス報酬 アップ

社会の高齢化が進み、最も多く利用されている訪問介護サービスが前回の介護報酬改定でカットされてしまいました。介護報酬全体のアップを要望し、0.7%アップが実現！ 障がい福祉サービス報酬も0.56%アップ。



山形県 参議院議員 **芳賀道也**
所属委員会
総務委員会、決算委員会(理事)
東日本震災復興特別委員会

【山形事務所】
〒990-0825
山形県山形市城北町1丁目24-15
ダイヤ66城北 2F・A
TEL023-676-5115 FAX023-676-5116

【国会事務所】
〒100-8962
東京都千代田区永田町2丁目1-1
参議院議員会館 917号室
TEL 03-6550-0917 FAX.03-6551-0917

